

# 整形外科学

主任教授 吉田宗人

講師 山田宏 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二

助教 高見正成 中尾慎一 宮本選 谷口隆哉 谷口亘 下江隆司 神埜聖治 浅井宣樹

## 研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキンベック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1. 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究
  - 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
  - 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
  - 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
  - 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
  - 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
  - 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
  - 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
  - パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
  - パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
  - パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
  - 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
  - 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究
2. 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究
  - 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
  - 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
  - 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究
3. 骨形成タンパク(OP-1)の臨床応用に関する研究
  - 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
  - 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究
4. その他
  - キンベック病に関する臨床的研究
  - マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
  - 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

## 著書

### a)学術

1. 吉田宗人: 脊椎内視鏡下手術—更なる技術革新を目指して—, 整形外科医師随想集: 人として整えつつけて 監修・編 飯田鷗二 pp28-30(2015)
2. 岡安 勤: 理学療法 . 「脳性麻痺ハンドブック第2版」 穂山富太郎・川口幸義 編著, 医歯薬出版, 東京, 169-177, 2015
3. 川上 守: 化膿性脊椎炎. 「今日の治療指針2015」: 監修: 山口 徹, 北原光夫 編集: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 責任編集: 吉川秀樹, 医学書院, 東京, pp. 1017-1018, 2015.
4. 川上 守: 診療ガイドライン 23.腰痛診療ガイドライン 2012: 「今日の治療指針2015」 監修: 山口 徹, 北原光夫 編集: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 責任編集: 吉川秀樹, 医学書院, 東京, pp. 1870-1873, 2015.
5. 川上 守: 腰部脊柱管狭窄の自然経過. 「プライマリケアのための腰部脊柱管狭窄 -外来マネジメント- 改訂版」 菊地臣一編, 医薬ジャーナル社, 東京, pp 25-30, 2015.
6. 橋爪洋. 職業性腰痛. 今日の治療指針 2015 年版 (Volume 57) 私はこう治療している 監修山口徹・北原光夫, 総編集福井次矢・高木誠・小室一誠, 医学書院 東京, Volume 57 pp995-996, 2015
7. 谷口亘, 中塚映政: Q&A 不働化により生じる弊害は? -基礎的見地から- 痛みの Science & Practice シリーズ 8 「臨床に役立つ神経障害性疼痛の理解」 文光堂, 東京, PP.254-255, 2015

### その他

1. 吉田宗人, 橋爪洋. わかやま型「高齢者運動器疾患 (ロコモ) 予防対策運動」プログラム効果検証・分析結果報告書. 和歌山県・公立大学法人和歌山県立医科大学, 2015年3月発行

## 総説

1. 川上 守: 椎間板ヘルニアの発痛機序 その基礎研究の現状と課題. 臨床整形外科 50 (9):883-888, 2015.
2. 橋爪 洋, 吉村典子, 寺口真年, 吉田宗人. 椎間板変性の疫学—一般住民コホート調査の結果より. 脊椎脊髄ジャーナル 28(1):14-18, 2015
3. 南出晃人, 宮腰尚久, 飯田尚裕. 腰部脊柱管狭窄症の治療と管理. Loco Cure 2015;1(3):1-9.
4. 中川幸洋, 吉田宗人: 【腰椎椎間板ヘルニアに対する手術療法 低侵襲手術の実際と合併症対策】低侵襲手術の合併症対策 内視鏡下手術における合併症対策. 整形外科 Surgical Technique 5(3)pp301-307(2015)
5. 中川幸洋: 内視鏡下頸椎椎間孔後方拡大術. OS NEXUS No2., pp52-65, 2015、メジカルビュー社、東京
6. 中川幸洋, 吉田宗人: レジデントのための関節鏡-手技のポイントと合併症対策- 脊椎内視鏡-MEDを中心に. 関節外科 34(11): 1140-1150, 2015
7. 中川幸洋: 頸部脊髄症に対する内視鏡下椎弓形成術(CMEL). 脊椎脊髄 28(9): 799-807, 2015
8. 中川幸洋, 吉田宗人: レジデントのための関節鏡-手技のポイントと合併症対策- 脊椎内視鏡 -MEDを中心に. 関節外科 34(11): 1140-1150, 2015
9. 筒井俊二, 吉田 宗人. 【腰椎変性後側弯症-病態から治療まで-】疫学・自然経過、また筋評価などの病態に関する検討. MB Orthopedics、28巻2号:1-6, 2015.
10. 阿部唯一: Patch-clamp 法、整形外科 66 (1) : 50, 2015
11. 中尾慎一, 宮本選, 川上守: 特集: 骨粗鬆症の薬物療法 IV. 骨粗鬆症の薬物療法 疼痛治療薬骨粗鬆症の薬物療法. 日本臨床 Vol 73 No10. 1706-11. 2015

## 原著

1. 岡安 勤・下菌英史: 脳性麻痺および頭部外傷後遺症・脳炎後遺症の上肢に対する装具療法. 日本脳性麻痺の外科研究会誌、vol25,47-51,2015

2. 岡安 勤：月出法を行った先天性内反足の長期成績. 日本小児整形外科学会雑誌、vol.24(1)7-13,2015
3. 川上 守、長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子:頸髄症手術患者の軸性疼痛について—心理的因子は関与するのか?. J Spine Research 6(3):261, 2015.
4. 川上 守、長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子: 頸椎後方除圧術をうけた頸髄症患者の軸性疼痛について. 日整会誌 89 (2):S114,2015.
5. Ando M, Tamaki T, Yoshida M, Kawakami M, Kubota S, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Yamada H. Intraoperative spinal cord monitoring using combined motor and sensory evoked potentials recorded from the spinal cord during surgery for intramedullary spinal cord tumor. Clin Neurol Neurosurg. 2015; 133:18-23
6. 安藤 宗治, 玉置 哲也, 松本 卓二, 麻殖生 和博, 福井 大輔, 寺口 真年, 吉田 宗人 : 経頭蓋電気刺激・筋誘発電位を用いた脊髄機能モニタリングの pitfall. Journal of Spine Research(1884-7137)6 巻 3 号 Page672(2015.03)
7. 安藤 宗治, 玉置 哲也, 松本 卓二, 麻殖生 和博 : Br(E)-MsEP を用いた脊髄機能モニタリングの問題点の検討. 脊髄機能診断学 35(1)114-117(2015)
8. Yamada H, Terada M, Iwasaki H, Endo T, Okada M, Nakao S, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Tsutsui S, Oka H, Yoshida M:Improved diagnostic accuracy of lumbar intra- and/or extra-foraminal stenosis by use of three dimensional MR imaging : comparison with conventional MR imaging.Journal of Orthopaedic Science Volume 20, Issue 2 (2015), Page 287-294
9. Yamada H, Oka H, Iwasaki H, Endo T, Kioka M, Ishimoto Y, Nagata K, Takiguchi N, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Tsutsui S, Yoshida M:Development of a support tool for the clinical diagnosis of symptomatic lumbar intra and/or extra-foraminal stenosis.Journal of Orthopaedic Science: Volume 20, Issue 5 (2015), Page 811-817
10. Hashizume H, Konno S, Takeshita K, Fukui M, Takahashi K, Chiba K, Miyamoto M, Matsumoto M, Kasai Y, Kanamori M, Matsunaga S, Hosono N, Kanchiku T, Taneichi H, Tanaka N, Kanayama M, Shimizu T, Kawakami M. Japanese orthopaedic association back pain evaluation questionnaire (JOABPEQ) as an outcome measure for patients with low back pain: reference values in healthy volunteers. J Orthop Sci. 20: 264-80, 2015.
11. 橋爪 洋、寺口真年、吉村典子、吉田宗人：【椎間板と痛み】椎間板変性の疫学 一般住民コホート調査の結果より. 脊椎脊髄ジャーナル 28(1) pp14-18(2015)
12. 橋爪 洋、吉村典子、石元優々、長田圭司、阿久根徹、山田 宏、村木重之、岡 敬之、南出晃人、 中川幸洋、吉田宗人:実地臨床に役立つ疫学知識 地域住民における頸髄圧迫、腰部脊柱管狭窄症の有病率と身体所見との関係 The Wakayama Spine Study. Journal of Spine Research 5(9) pp1271-1275(2015)
13. Matsumoto T, Ando M, Sasaki S : Effective treatment of delayed union of a lumbar vertebral fracture with daily administration of teriparatide in a patient with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis.Eur Spine J. Suppl 4:S573-6, 2015 Feb 4.
14. Matsumoto T, Ando M, Hamazaki H : Intradural herniation of a thoracic disc presenting as left radicular pain and left drop foot. Interdisciplinary Neurosurgery 2(3) 129-132
15. 松本 卓二, 安藤 宗治, 峠 康, 坂田 亮介, 佐々木 俊二 : 60 歳以上女性の大腿骨近位部骨折患者における糖尿病合併患者および非糖尿病患者の骨折型、発症年齢の比較検討と HbA1c および空腹時血糖の治療・未治療患者における検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58(4)653-654(2015)
16. 松本 卓二, 安藤 宗治, 麻殖生 和博, 福井 大輔 : びまん性脊椎骨増殖症に合併した胸腰椎椎骨折における経皮的椎弓根スクリューを用いた脊椎後方固定術と従来法による後方固定術との比較検討. Journal of Spine Research 6(3)356(2015)
17. 松本 卓二, 安藤 宗治, 福井 大輔, 麻殖生 和博, 佐々木 俊二:びまん性脊椎骨増殖症に合併した胸腰椎骨折における経皮的椎弓根スクリューを用いた脊椎後方固定術の検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58 巻春季学会 207(2015)

18. 松本 卓二, 安藤 宗治, 福井 大輔, 麻殖生 和博, 佐々木 俊二: 60 歳以上女性の大腿骨近位部骨折における糖尿病患者の骨折型, 年齢の検討と HbA1c および空腹時血糖の比較検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58 巻春季学会 57(2015)
19. 松本 卓二, 麻殖生 和博, 峠 康: びまん性脊椎骨増殖症および骨粗鬆症性椎体骨折の胸腰椎椎骨骨折手術症例における患者の病態における比較検討. 骨折(37 巻 Suppl. S91(2015))
20. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada O, Okada S, Oka H. Efficacy of Posterior Segmental Decompression Surgery for Pincer Mechanism in Cervical Spondylotic Myelopathy: A Retrospective Case-Controlled Study using Propensity Score Matching. Spine (Phila Pa 1976) 2015;40(23):1807-1815.
21. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Nakagawa Y, Hashizume H, Iwasaki H, Tsutsui S. Clinical Outcomes after Microendoscopic Laminotomy for Lumbar Spinal Stenosis: A 5-year Follow-up Study. Eur Spine J. 2015;24(2):396-403.
22. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井 俊二, 中尾 慎一, 岡田 紗枝, 岩橋 弘樹, 岡 敬之. 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績に影響する因子は何か. J Spine Res 2015;6(3):410.
23. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井 俊二, 岡田 基宏, 中尾 慎一, 岡田 紗枝, 岩橋 弘樹. 高齢者の頸椎症性脊髄症に対する脊椎内視鏡下手術の有用性の検討. J Spine Res 2015;6(3):341.
24. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井 俊二, 岡田 基宏, 中尾 慎一, 岡田 紗枝, 岡 敬之. 頸椎症性脊髄症の病態に沿った低侵襲除圧術の有用性の検討 Propensity Score Matching 法による比較研究. J Spine Res 2015;6(3):255.
25. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 岡田 紗枝. 腰椎変性すべりを伴う腰部脊柱管狭窄症に対する病期分類の検討 病期別からの内視鏡下除圧術の臨床成績. 中部整災誌 2015; 58 春季学会:89.
26. 南出 晃人, 吉田 宗人, 山田 宏, 橋爪 洋, 中川 幸洋, 西 秀人, 岩崎 博, 筒井 俊二, 岡田 基宏, 岡 敬之. 頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下除圧術の有用性の検討 Propensity score matching 法による比較研究. 日整会誌 2015;89(2):S116.
27. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 西秀人 岩崎博 筒井俊二 中尾慎一 岡田紗枝 岩橋弘樹: 内視鏡手術の EBM の検証; MED システムを用いた脊椎変性疾患に対する除圧手術についての現状と未来. 日整会誌 89(3) S857, 2015
28. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 岩崎博, 筒井俊二, 中尾慎一, 岡田紗枝, 岩橋弘樹: 脊椎内視鏡手術における合併症と対策. Journal of spine research 6(3): 641, 2015
29. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 岩崎博, 筒井俊二, 中尾慎一, 岡田紗枝, 岩橋弘樹: Revision surgery としての XLIF(eXtreme Lateral Interbody Fusion)の適応と実際. Journal of spine research 6(3): 695, 2015
30. 岩崎 博, 山田宏, 吉田宗人. 特集: 最小侵襲脊椎安定術 MIST の手術支援機器 Extreme lateral interbody fusion(XLIF®) における術中神経モニタリングの有用性. 整形外科最小侵襲手術ジャーナル (76)61-68, 2015
31. Tsutsui S, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Yoshida M. Quantification of the proportion of motor neurons recruited by transcranial electrical stimulation during intraoperative motor evoked potential monitoring. J Clin Monit Comput. 2015, 29:35-39
32. 宮崎展行, 阿部唯一, 谷口隆哉, 峰 巨, 曾根勝真弓, 吉田 宗人: 経験と考案 日本整形外科学会股関節疾患評価質問票は人工股関節全置換術後満足度を反映するか. 整形外科 66(6) pp517-519(2015)
33. 佐々木貴英, 南 晋司, 吉田 宗人: 小児に発症した大腿骨頸部疲労骨折の 1 例, 和歌山医学 66(2)pp58-60(2015)
34. Enyo Y, Yoshimura N, Yamada H, Hashizume H, Yoshida M: Radiographic natural course of lumbar degenerative spondylolisthesis and its risk factors related to the progression and onset in a 15-year community-based cohort study: the Miyama study. J Orthop Sci, 20: 978-84, 2015

35. Mine N, Taniguchi W, Nishio N, Izumi N, Miyazaki N, Yamada H, Nakatsuka T, Yoshida M : Synaptic modulation of excitatory synaptic transmission by nicotinic acetylcholine receptors in spinal ventral horn neurons. *Neuroscience*. 290:18-30, 2015
36. 石元優々、川上 守、長田圭司、北川智子、森下詔子、松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症患者の術後腰痛、手術満足度に術前心理尺度は関与するか? . *J Spine Research* 6(3):424, 2015.
37. 長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子、川上 守 : QOL、心理面の評価法を加味した一般健康者における頸部愁訴の特徴. *J Spine Research* 6(3):485, 2015.
38. Fukui D, Kawakami M, Yoshida M, Nakao S, Matsuoka T, Yamada H: Gait abnormality due to spinal instability after lumbar facetectomy in the rat. *Eur Spine J*. 2015 Sep;24(9):2085-94. (2015)
39. Fukui D, Murata K, Shoji S, Cheng K, Yamada K, Sato R, Naiki M, Inoue N, Masuda K, Kawakami M: Three-Dimensional Micro-Computed Tomography Analysis for Spinal Instability after Lumbar Facetectomy in the Rat. "Orthopaedic Research Society 2015 Annual Meeting Abstracts": iBooks. Paper Number 206, 2015.
40. 福井大輔、川上 守、内木 充、井上 望、舛田浩一: 3μDCT を用いたラット腰椎椎間板切除後の構造学的変化の検討. *日整会誌* 89 (8):S1615,2015.
41. 福井大輔、川上 守、内木 充、舛田浩一: ラット腰椎椎間板切除後の歩行以上に対するストレスの影響. *日整会誌* 89 (8):S1787,2015.
42. 福井 大輔, 佐々木 俊二, 安藤 宗治, 峠 康, 松本 卓二, 麻殖生 和博, 坂田 亮介, 玉井 英伸 : 踵骨アキレス腱付着部裂離骨折に対し suture bridging 法を用い手術を施行した 1 例. *和歌山医学* 66(1) 15(2015)
43. Kagotani R, Yoshida M, Muraki S, Oka H, Hashizume H, Yamada H, Enyo Y, Nagata K, Ishimoto Y, Teraguchi M, Tanaka S, Nakamura K, Kawaguchi H, Akune T, Yoshimura N.: Prevalence of diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) of the whole spine and its association with lumbar spondylosis and knee osteoarthritis: the ROAD study *J Bone Miner Metab*. 2015 Mar;33(2):221-9. (2015)
44. Teraguchi M, Yoshimura N, Hashizume H, Muraki S, Yamada H, Oka H, Minamide A, Nakagawa H, Ishimoto Y, Nagata K, Kagotani R, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M.: The association of combination of disc degeneration, end plate signal change, and Schmorl node with low back pain in a large population study: the Wakayama Spine Study. *Spine J*. 2015 Apr 1;15(4):622-8. (2015)
45. Yamanaka M, Taniguchi W, Nishio N, Hashizume H, Yamada H, Yoshida M, Nakatsuka T: In vivo patch-clamp analysis of the antinociceptive actions of TRPA1 activation in the spinal dorsal horn. *Mol Pain*. 2015 Apr 21;11:20. (2015)
46. 佐々木貴英、南晋司、吉田宗人 : 小児に発症した大腿骨頸部疲労骨折の 1 例. *和歌山医学* 66(2),58-60,2015
47. 曾根勝真弓、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、岩橋弘樹、佐々木貴英、神藤一紀、吉田宗人 : 成人化膿性股関節炎に対する二期的人工股関節置換術の経験. *日本人工関節学会誌* 第 45 巻 881-882, 2015
48. 神藤 一紀, 谷口 泰徳, 宮崎 展行, 浅井 宣樹, 山中学, 吉田 宗人: 大腿部仮性動脈瘤の 1 例, *中部日本整形外科災害外科学会雑誌* 58(2): 289-290, 2015
49. 神藤 一紀, 宮崎 展行, 峰 巨, 曾根勝 真弓, 吉田 宗人 : 臨床室 硬膜外チューブを用いた抗菌薬局所注入療法が有用と思われた化膿性膝関節炎の 1 例, *整形外科* 66(12) : 1279-1282, 2015
50. Nakamura M, Hashizume H, Oka H, Okada M, Takakura R, Hisari A, Yoshida M, Utsunomiya H. Physical Performance Measures Associated With Locomotive Syndrome in Middle-Aged and Older Japanese Women. *J Geriatr Phys Ther*. 38: 202-7, 2015.
51. Yoshimura N, Akune T, Fujiwara S, Shimizu Y, Yoshida H, Nishiwaki Y, Sudo A, Omori G, Yoshida M, Shimokata H, Suzuki T, Muraki S, Oka H, Nakamura K.: Incidence of disability and its associated factors in Japanese men and

women: the Longitudinal Cohorts of Motor System Organ (LOCOMO) study. *J Bone Miner Metab.* 2015 Mar;33(2):186-91. (2015)

52. Muraki S, Akune T, Nagata K, Ishimoto Y, Yoshida M, Tokimura F, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Oka H, Yoshimura N.: Does osteophytosis at the knee predict health-related quality of life decline? A 3-year follow-up of the ROAD study. *Clin Rheumatol.* 2015 Sep;34(9):1589-97. (2015)
53. Muraki S, Akune T, Teraguchi M, Kagotani R, Asai Y, Yoshida M, Tokimura F, Tanaka S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshimura N.: Quadriceps muscle strength, radiographic knee osteoarthritis and knee pain: the ROAD study. *BMC Musculoskelet Disord.* 2015 Oct 16;16(1):305. (2015)
54. 中川智刀, 吉田 宗人, 河合将紀, 野村和教 中村陽介, 矢渡健一: 内視鏡か椎間板摘出術 (MED)1557 例術後の同部位ヘルニア再発手術例の頻度と特徴, *Journal of Spine Research* 6(8) pp1278-1281(2015)
55. 矢渡健一, 河合将紀, 野村和教 中村陽介, 吉田 宗人: 内視鏡視下に摘出し得た急性脊髄硬膜外血腫の 1 例. *臨床整形外科* 50(1)pp63-68 (2015)
56. 河原加奈, 宇都宮洋才, 橋爪 洋, 河野良平, 野村幸子, 前野寛大, 藤平保茂, 吉田 宗人, 中村美紗: 点等恐怖感と身体組成および転倒リスクとの関係. *日本末病システム学会雑誌* 21(2) pp148-151(2015)
57. 野村幸子, 中村美紗, 河野良平, 前野寛大, 橋爪 洋, 吉田 宗人, 宇都宮洋才: 梅の摂取週間の体組成に対する影響. *日本末病システム学会雑誌* 21(2) pp1162-166(2015)
58. 矢渡健一, 河合将紀, 野村和教, 中村陽介, 吉田宗人: 内視鏡下に摘出し得た急性脊髄硬膜外血腫の 1 例, *臨床整形外科* 50 巻 1 号, p63-68, 2015
59. Dino Samartzis, Jason Pui Yin Cheung, Shanmuganathan Rajasekaran, Yoshiharu Kawaguchi, Shankar Acharya, Mamoru Kawakami, Shigenobu Satoh, Wen-Jer Chen, Chun-Kun Park, Chong-Suh Lee, Thanit Foocharoen, Hideki Nagashima, Sunguk Kuh, Zhaomin Zheng, Richard Condor, Manabu Ito, Motoki Iwasaki, Je Hoon Jeong, Keith DK Luk, Bambang Prijambodo, Amol Rege, Tae-Ahn Jahng, Zhuojing Luo, Warat Tassanawipas, Narayana Acharya, Rohit Pokharel, Yong Shen, Takui Ito, Zhihai Zhang, Janardhana Aithala P, Gomatam Vijay Kumar, Rahyussalim Ahmad Jabir, Saumyajit Basu, Baojun Li, Vishal Moudgil, Ben Goss, Phoebe Sham, Richard Williams: Critical values of facet joint angulation and tropism in the development of lumbar degenerative spondylolisthesis: An international, large-scale multicenter study by the AOSpine Asia Pacific Research Collaboration Consortium. *Global Spine J* DOI: 10.1055/s-0035-1564417, 2015
60. 折田純久, 大鳥精司, 山下俊彦, 米延策雄, 川上 守, 田口敏彦, 菊地臣一, 牛田享宏, 中村雅也, 高橋和久: 腰椎疾患における神経障害性疼痛スクリーニングの現状と限界—脊椎関連慢性疼痛患者における神経障害性疼痛有病率調査サブ解析より. *J Spine Research* 6(3):475, 2015.
61. 宮城正行, 井上 玄, 大鳥精司, 石川哲大, 鴨田博人, 佐久間詳浩, 西能 健, 内田健太郎, 川上 守, 高橋和久, 高相晶士: 慢性椎間板性疼痛の実験モデルを用いた病態に関する検討. *日整会誌* 89 (8):S1486, 2015.
62. 小野田幸治, 竹歳秀人, 高見正成: 下肢虚血を合併した巨大膝窩動脈瘤の 1 手術例. *日本血管外科学会雑誌* 24(5), 841-844, 2015
63. Kim JH, Rhee JM, Enyo Y, Hutton WC, Kim SS : A biomechanical comparison of 360° stabilizations for corpectomy and total spondylectomy: a cadaveric study in the thoracolumbar spine. *J Orthop Surg Res.* 2015 Jul 1;10:99.
64. Matsumura S, Taniguchi W, Nishida K, Nakatsuka T, Ito S : In vivo two-photon imaging of structural dynamics in the spinal dorsal horn in an inflammatory pain model. *Eur J Neurosci.* 41:989-97, 2015
65. Kiyoyuki Y, Taniguchi W, Okubo M, Yamanaka H, Kobayashi K, Nishio N, Nakatsuka T, Noguchi : Leukotriene enhances NMDA-induced inward currents in dorsal horn neurons of the rat spinal cord after peripheral nerve injury. *Mol Pain.* 11:53, 2015

66. Izumi N, Nishio N, Taniguchi W, Miyake Y, Kiyoyuki Y, Yamanaka M, Sonekatsu M, Abe T, Takiguchi N, Yoshida M, Nakatsuka T : A role of CGRP on excitatory synaptic transmission in spinal substantia gelatinosa neurons. The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord 36: 10-15, 2015

その他の論文 (症例報告等)

1. 増田研一：一般社団法人大阪府サッカー協会季刊誌 Action! テクニカルスタディ (メディカル) 9月号 P.20 ボールを用いないトレーニングについて
2. 増田研一：一般社団法人大阪府サッカー協会季刊誌 Action! テクニカルスタディ (メディカル) 12月号 P.20 「静的」トレーニングと「動的」トレーニング
3. 出口剛士：高ALP血症を呈したが、診断が遅延した播種性骨髄癌症の1例.中部整災誌 58 : 735 - 736, 2015

学会報告

a) 国際学会

1. Yoshida M: Efficacy of microendosc. decomp. by a novel paramedian approach in lumbar stenosis. International 33rd Course for Percutaneous Endoscopic Spinal Surgery and Complementary Minimal Invasive Techniques, Hirslanden Hospital, Zurich, Switzerland, January 29-30(2015)
2. Yoshida M: Minimally invasive cervical laminoplasty. HONG KONG 2015 the Combined Congress of 12th HKIOF & 10th APSS & APPOS, Hong Kong Convention & Exhibition Centre, North Point, Hong Kong, June 5-7 (2015)
3. Yoshida M: DLIF for degenerative spondylolisthesis. HONG KONG 2015 the Combined Congress of 12th HKIOF & 10th APSS & APPOS, Hong Kong Convention & Exhibition Centre, North Point, Hong Kong, June 5-7 (2015)
4. Kawakami M, Ishimoto Y, Nagata K, Kitagawa T, Morishita S, Matsuoka T: Cervical spine dysfunction and axial pain after posterior decompression surgery using mesh plates for patients with cervical myelopathy, ISASS15, April 15 - 17, 2015, San Diego California
5. Kawakami M, Ishimoto Y, Nagata K, Kitagawa T, Morishita S, Matsuoka T: Preoperative lumbar spine dysfunction might affect clinical outcomes of lumbar spinal stenosis patients treated with decompression and fusion. Spine Across the Sea 2015, July 26-30, 2015, Kohala Coast, Hawaii,
6. Kawakami M, Kawaguchi Y, Ohtori S, Sato S, Kawahara N and members of the AOSpine Japan Research Collaboration Consortium : Comparison of Surgical Outcomes for Degenerative Lumbar Spondylolisthesis with Neurogenic Claudication – A prospective, comparative, multicenter trial. Spine Summit Asia Pacific – Hong Kong 2015, September 25-27.Hong Kong,
7. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Nakao S, Okada S, Oka H: Risk factors for residual low back pain associated with lumbar spinal canal stenosis following decompression surgery. 42nd ISSLS Annual Meeting 2015, San Francisco, USA, 2015, 6, 8-12
8. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Nakao S, Okada S, Oka H : Improvement in Low back pain associated with lumbar spinal canal stenosis following spinal microendoscopic surgery. 42nd ISSLS Annual Meeting 2015, San Francisco, USA, 2015.6.8-12
9. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Nakao S, Okada S, Oka H : Risk factors for residual low back pain associated with lumbar spinal canal stenosis following decompression surgery. Spine across the sea 2015.7.26-30
10. Hashizume H, Yoshimura N, Yamada H, Oka H, Teraguchi M, Iwahashi H, Asai Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Sasaki T, Shinto K, Muraki S, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshida M : Podium Presentation: Radiographic changes in the paravertebral muscles of the lumbar spine associated with the C7 sagittal vertical axis: The Wakayama Spine Study. Spine Across the Sea 2015, 2015, July 26-30, Hawaii, USA

11. Hashizume H, Yoshimura N, Yamada H, Oka H, Iwahashi H, Sasaki T, Teraguchi M, Ishimoto Y, Nagata K, Kagotani R, Muraki S, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshida M : Podium Presentation: Relationship between age-related changes in the paravertebral and psoas muscles of the lumbar spine and low back pain: The Wakayama Spine Study. Spine Across the Sea 2015, 2015, July 26-30, Hawaii, USA
12. Hashizume H, Yoshimura N, Teraguchi M, Yoshida M : Podium Presentation: Radiographic changes in the paravertebral muscles of the lumbar spine associated with the C7 sagittal vertical axis: The Wakayama Spine Study. 10th Combined Congress of the Asia Pacific Spine Society, 2015, June 5-7, Hong Kong
13. Hashizume H, Yoshimura N, Yamada H, Oka H, Iwahashi H, Asai Y, Tsutsui S, Sasaki T, Teraguchi M, Kagotani R, Muraki S, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshida M : Poster Presentation: Radiographic changes in the paravertebral muscles of the lumbar spine associated with the C7 sagittal vertical axis: The Wakayama Spine Study. 43rd Annual Meeting of the International Society for the Study of Lumbar Spine, June 8-12, 2015, San Francisco, USA.
14. Hashizume H, Yoshimura N, Yamada H, Oka H, Iwahashi H, Sasaki T, Ishimoto Y, Nagata K, Teraguchi M, Kagotani R, Muraki S, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshida M : Special Poster Presentation: Relationship between age-related changes in the paravertebral and psoas muscles of the lumbar spine and low back pain: The Wakayama Spine Study. 43rd Annual Meeting of the International Society for the Study of Lumbar Spine, June 8-12, 2015, San Francisco, USA.
15. Minamide A, Yoshida, M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Nakao S, Oka H. Efficacy of Posterior Segmental Decompression Surgery for Pincer Mechanism in Cervical Spondylotic Myelopathy: A Retrospective Case-Control Study Using Propensity Score Matching. 6th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section. March 26-28, 2015. Yokohama, Japan.
16. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada S, Iwahashi H, Oka H. Which factors affect to clinical outcomes of endoscope-assisted decompression surgery for lumbar spinal stenosis with degenerative spondylolisthesis? 42nd The International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting, June 8-12, 2015, San Francisco, CA, USA.
17. Minamide A, Yoshida, M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Nakao S, Oka H. Efficacy of Posterior Segmental Decompression Surgery for Pincer Mechanism in Cervical Spondylotic Myelopathy: A Retrospective Case-Control Study Using Propensity Score Matching. Spine Across the Sea, July 26-30, 2015, Big Island, Hawaii, USA.
18. Minamide A, Yoshida, M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Nakao S. Long-Term Clinical Outcomes After Microendoscopic Laminotomy for Lumbar Spinal Stenosis: A Five-Year Follow-Up Study. Spine Across the Sea, July 26-30, 2015, Big Island, Hawaii, USA.
19. Minamide A, Yoshida, M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Nakao S. Classification Setting of Pathological Stages of Lumbar Spinal Stenosis Including Degenerative Spondylolisthesis: A Clinical Outcome of Microendoscopic Laminotomy on Each Stage. Spine Across the Sea, July 26-30, 2015, Big Island, Hawaii, USA.
20. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Oka H. Efficacy of Posterior Segmental Decompression Surgery for Pincer Mechanism in Cervical Spondylotic Myelopathy -A retrospective case-control study using propensity score matching. 43rd Annual Meeting of Cervical Spine Research Society, December 3-5, 2015. San Diego, CA, USA.
21. Ishimoto Y, Yoshimura N, Muraki S, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Minamide A, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M : Association Of Lumbar Spondylolisthesis With Low Back Pain And Symptomatic Lumbar Spinal Stenosis In A population-based Cohort: The Wakayama Spine Study, World Spine Congress, 2015.5, Buenos Aires
22. Ishimoto Y, Kawakami M., Nagata K., Kitagawa T., Morishita S., Matsuoka T : Preoperative psychological factors affect postoperative low back pain but not satisfaction in lumbar spinal stenosis patients, ISSLS, 2015.6 San Francisco



23. Fukui D, Murata K, Shoji S, Cheng K, Yamada K, Sato R, Naiki M, Inoue N, Masuda K, Kawakami M: Three-Dimensional Micro-Computed Tomography Analysis for Spinal Instability after Lumbar Facetectomy in the Rat.: Orthopaedic Research Society 2015 Annual meeting, Las Vegas, Nevada, March 28-31, 2015. Las Vegas
24. Fukui D, Matsumoto T, Naiki M, Masuda K, Kawakami M: Stress enhances gait disturbance induced by lumbar facetectomy. Annual meeting of International Society for the Study of the Lumbar Spine, June 8–12, 2015, San Francisco, California
25. Fukui D, Murata K, Shoji S, Chang K, Yamada K, Sato R, Naiki M, Inoue N, Masuda K, Kawakami M: Three-dimensional micro-computed tomography analysis of the intervertebral disc after lumbar facetectomy in the rat. Annual meeting of International Society for the Study of the Lumbar Spine, June 8–12, 2015. San Francisco, California,
26. Asai Y, Yoshimura N, Tsutsui S, Teraguchi M, Oka H, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Muraki S, Akune T, Yoshida M: Prevalence of modic changes in subjects with positive sagittal imbalance and its relationship to low back pain in a population-based cohort: The Wakayama Spine Study. 51th Scoliosis Research Society, Minneapolis, Minnesota, USA, 2015
27. Iwahashi H, Yoshimura N, Hashizume H, Yamada H, Oka H, Shinto K, Ishimoto Y, Nagata K, Teraguchi M, Kagotani R, Muraki S, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshida M Relationship between bony spinal canal stenosis and the prevalence of clinical symptoms of lumbar spinal stenosis –The Wakayama Spine Study, ISSLS Annual Meeting June 8-12, 2014, San Francisco, California, USA
28. Sonekatsu M, Taniguchi W, Yamanaka M, Nishio N, Tsutsui S, Nishi H, Hashizume H, Nakatsuka T, Yoshida M : Interferon-gamma activates NMDA receptors in the dorsal horn of spinal cord. Society for Neuroscience 2015, 2015.10.17-21, Chicago

b) シンポジウム, 学術講演等

1. 吉田宗人: 脊椎低侵襲手術の新しい治療戦略 第53階岡山県整形外科勤務医会教育研修会 岡山プラザホテル, 岡山市 (2015.1)
2. 吉田宗人: 腰部脊柱管狭窄症—疫学・自然経過を踏まえた治療法の選択 第124回和歌山臨床整形外科医会研修会 和歌山ビッグ愛, 和歌山市 (2015.3)
3. 吉田宗人: 脊椎内視鏡下手術—更なる技術革新を目指して 第124回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 ANA クラウンプラザホテル金沢, 金沢市 (2015.4)
4. 吉田宗人: 大正富山 Award 受賞記念講演—その後の Strategy—脊椎変性疾患とサルコペニア 第44回日本脊椎脊髄病学会 福岡国際会議場 福岡市 (2015.4)
5. 吉田宗人: 脊椎内視鏡下手術—更なる技術革新を目指して 第45回関西ペインクリニック学会学術集会, 大阪国際交流センター 大阪市 (2015.5)
6. 吉田宗人: 脊椎内視鏡下手術—更なる技術革新を目指して— 第21回西播磨整形外科医会学術講演会 姫路商工会議所, 姫路市 (2015.9)
7. 吉田宗人: 腰部脊柱管狭窄症—疫学・自然経過を踏まえた治療法— 第64回東日本整形災害外科学会, ザ・セレ区トン福島 福島市 (2015.9)
8. 吉田宗人: スポーツ選手の脊椎障害と治療戦略—内視鏡下手術も含めて— 第14回愛媛スポーツ研究会 えひめ共済会館 松山市 (2015.9)
9. 吉田宗人: 脊椎内視鏡下手術—更なる技術革新を目指して— 第54回北海道脊椎脊髄疾患研究会 北海道大学医学部学友会館 札幌市 (2015.10)
10. 吉田宗人: 脊椎内視鏡下手術—更なる技術革新を目指して— 第21回日本最小侵襲整形外科学会 ステーションコンファレンス東京 東京都 (2015.11)
11. 川上 守: 骨粗鬆症性椎体骨折の治療—われわれ脊椎ケアセンターでの取り組み. 第141回山口県整形外科医会特別講演, 2015.2. 山口
12. 川上 守: JOACMEQ, JOABPEQ から学んだことと今後の展望 第47回大阪脊椎外科フォーラム特別講演, 2015.7. 大阪
13. Kawakami M: Post operative infection. AOSpine Advances Course Sapporo 2015, 2015.8. 北海道

14. Kawakami M: Lumbar sacral fusion. AOSpine Advances Course Sapporo 2015.2015.8. 北海道
15. Kawakami M: Geriatric Odontoid Fracture – Operate or Not. AOSpine Asia Pacific Interactive Course 2015, September 24-26, Hong Kong,
16. Kawakami M: Acute TL Trauma with Radiological Compression and Neurology : When is ‘Early Surgery’ Mandatory : What is the Current Evidence. AOSpine Asia Pacific Interactive Course 2015, September 24-26, Hong Kong,
17. Kawakami M: Osteoporotic TL Fractures with Neurology – A Surgical Algorithm. AOSpine Asia Pacific Interactive Course 2015, September 24-26, Hong Kong,
18. 川上 守: 「分院」脊椎ケアセンターでの骨粗鬆症性椎体骨折の治療. 市整会学術・文化.2015.10.大阪
19. 山田 宏: デイバート 後期高齢者変性すべり症: 固定 vs 除圧, 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18 博多
20. 山田宏 吉田宗人 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 西秀人 岩崎博 筒井俊二 岡田基宏 中尾慎一 岡田紗枝 岩橋弘樹 岡敬之: 腰部脊柱管狭窄症の術後に遺残する腰痛の危険因子, 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18 博多
21. 山田 宏: 腰椎椎間孔狭窄の診断と治療. 大阪脊椎フォーラム 2014.1.17 大阪市
22. 山田 宏: 腰椎椎間孔狭窄の診断と治療. Evening Conference in 静岡 2014.2.6 静岡市
23. 山田 宏: 高齢者脊柱変形に対する新しい低侵襲手術. 第4回連携登録医交流会 講演会 2015.2.12 和歌山市
24. 山田 宏: 脊柱変形に対する最新のミスト手術 一曲がった腰をまっすぐ伸ばすには? ー. 近未来研究会主催市民公開講座 2015.3.21 大阪市
25. 山田 宏: 腰部脊柱管狭窄症の腰痛. 神奈川脊椎脊髄研究会 2015.6.19 横浜市
26. 山田 宏: 成人脊柱変形に対する新しい低侵襲手術. 大阪市立大学整形外科卒後研修セミナー 2015.7.17 大阪市
27. 山田 宏: 腰椎椎間孔部狭窄の診断と治療. 第6回仙台難治性疼痛研究会 2015.8.8 大阪市
28. 山田 宏: Spine 最新トピックス 成人脊柱変形に対するM I S t. 朝日医学・医療セミナー Bone Masters Course IV 2015.9.6 大阪市
29. 山田 宏: ハンズオンセミナー-XLIF technique: tips and pitfalls. 日本腰痛学会 2015.11.14 東京
30. 山田 宏: 成人脊柱変形に対する新しい低侵襲手術. 平成27年度大阪臨床整形外科医会 2015.11.28 大阪市
31. 山田 宏: 脊椎MIS Cadaver Seminar2015. 2015.12.12-13 札幌市
32. 橋爪洋, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人. ロコモ予防体操ビデオを用いた地域住民への介入効果の検証 第124回中部日本整形外科災害外科学会パネルディスカッション. 2015.4.10-11, 金沢
33. 橋爪洋, 吉村典子, 山田宏, 吉田宗人. 脊椎加変性疾患の疫学指標ならびに運動機能との関連 : The Wakayama Spine Study. 第70回日本体力医学会シンポジウム. 2015.9.18-20, 和歌山
34. 橋爪洋, 吉村典子, 山田宏, 岡敬之, 寺口真年, 岩橋弘樹, 佐々木貴英, 村木重之, 阿久根徹, 川口浩, 中村耕三, 南出晃人, 中川幸洋, 田中栄, 吉田宗人. 腰椎単純MRIは腰痛の原因をどこまで説明可能か? : The Wakayama Spine Study. 第23回日本腰痛学会シンポジウム. 2015.11.14-15, 東京
35. 南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 岡田紗枝. 腰椎変性すべりを伴う腰部脊柱管狭窄症に対する病期分類の検討ー病期別からの内視鏡下除圧術の臨床成績. 第124回中部日本整形外科・災害外科学会学術集会. 2015.4.10-11. 金沢市
36. Akihito Minamide : 【Instructional Course Lecture】 20th Cervical Spinal Research Society Instructional Course Lecture. Surgical Techniques/Decision-Making In Cervical Spine Surgery - Cervico-Thoracic Junction Pathology – Radiculopathy. 2015. 12. 2. San Diego, CA, USA.
37. 南出晃人. CBT 挿入手技・OLIF 手技. 脊椎内視鏡/脊椎手術 cadaver seminar 2015. 2015. 1.23. 和歌山市 (和歌山県立医科大学内)
38. 南出晃人. 頸椎椎弓形成術一両開きと片開きの比較ー. 第9回NSG 頸椎セミナー. 2015.2.14. 名古屋市
39. 南出晃人. 頸椎変性疾患に対する内視鏡下除圧術の適応と有用性. 第6回和歌の浦低侵襲頸椎外科セミナー. 2015. 6. 26-27. 和歌山市

40. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 西秀人 岩崎博 筒井俊二 中尾慎一 岡田紗枝 岩橋弘樹：内視鏡手術のEBMの検証；MED システムを用いた脊椎変性疾患に対する除圧手術についての現状と未来. 第88回日本整形外科学会学術総会 2015.5.21-24、神戸
  41. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一：MED 手術をゴールデンスタンダードにするために必要なもの. 第18回日本低侵襲脊椎外科学会 2015.11.26-27、東京
  42. 中川幸洋：内視鏡アプローチにおける外科解剖. 獨協医科大学脊椎外科カダバーセミナー2015、2015.1.24-25、宇都宮
  43. 中川幸洋 吉田宗人：腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡下手術 Ortho Surgery Web Seminar 2015.2.26、和歌山市
  44. 中川幸洋：MEL（内視鏡椎弓切除）の手技の基本と応用. 第12回脊椎脊髄病研修コース 2015.4.18、博多
  45. 中川幸洋：腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下ヘルニア摘出術-手術手技の基本とポイント. 第6回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2015.6.27 和歌山市
  46. Kawai M：Microendoscopic posterior decompression for the treatment of degenerative lumbar and cervical spine, Beijing Integrative Medicine International Spine Minimally invasive forum, 2015.5.9, Huangyuan Hotel, China
  47. 岩崎 博：腰部脊柱管狭窄症（椎間孔部狭窄を含む）に対する内視鏡下除圧術の実際. 第6回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー、2015.6. 和歌山
- c) 全国学会
1. 吉田宗人：高齢者に対し instrumentation は必要か？一非固定術の立場から一. パネディスカッション 11 第88回日本整形外科学会学術総会 神戸市 (2015.5)
  2. 岡安 勤・下薮英史「脳性麻痺および麻痺性疾患の股関節脱臼に対する Barr 変法の適応の限界について」岡安 勤ほか、第32回日本脳性麻痺の外科研究会、2015.10.17.大阪市
  3. 川上 守、長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子：頸髄症手術患者の軸性疼痛について一心理的因子は関与するの？. 第44回日本脊椎脊髄病学会、2015.4.福岡
  4. 川上 守、長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子：頸椎後方除圧術をうけた頸髄症患者の軸性疼痛について. 第88回日本整形外科学会、2015.5.兵庫
  5. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、峠 康：頸椎椎弓形成術における C5 麻痺予防のモニタリング. 第45回日本臨床神経生理学会、2015.11. 大阪
  6. 安藤宗治、玉置哲也：脊椎脊髄手術における MEP モニタリングの pitfall. 第45回日本臨床神経生理学会、2015.11.大阪
  7. 安藤宗治：エキスパートレクチャー7（術中脊髄機能モニタリング）第45回日本臨床神経生理学会、2015.11.大阪
  8. 安藤宗治：Usefulness of skin adhesive, 2-octyl-cyanoacrylate prevention of surgical site infection in spinal surgery. 第22回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会、2015.9. 東京
  9. 安藤宗治、玉置哲也、佐々木俊二、麻殖生和博、福井大輔、寺口真年、吉田宗人：経頭蓋電気刺激・筋誘発電位を用いた脊髄機能モニタリングの pitfall. 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18. 博多
  10. 安藤宗治、玉置哲也、佐々木俊二、麻殖生和博、福井大輔、寺口真年、吉田宗人：経頭蓋電気刺激・筋誘発電位を用いた脊髄機能モニタリングの注意点の検討. 第88回日本整形外科学会学術総会 2015.5.21-24. 神戸
  11. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、麻殖生和博：脊髄モニタリングを利用した胸椎椎間板ヘルニア後方摘出術. 第50回日本脊髄障害医学学会 2015.11.19-20. 東京
  12. 山田 宏 吉田宗人 Sp 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井俊二 中尾慎一 岡田紗枝：XLIFに左側臥位による右側アプローチは危険か？-腹部 MRI study-. 第5回日本成人脊柱変形学会 2015.3.7 東京
  13. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井俊二 中尾慎一 岡田紗枝：高齢者脊柱変形に対する低侵襲手術 一後方手技の違いによる比較：XLIF+PPS V.S. XLIF+Open一. 第5回日本成人脊柱変形学会 2015.3.7 東京

14. 山田宏 吉田宗人 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 西秀人 岩崎博 筒井俊二 岡田基宏 中尾慎一 岡田紗枝 岩橋弘樹 岡敬之：腰痛を伴う腰部脊柱管狭窄症には固定術という治療戦略には再考が必要である。第44回日本脊椎病学会 2015.4.17 福岡市
15. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井俊二 岡田基宏 中尾慎一：腰部脊柱管狭窄症に伴う腰痛は椎管内視鏡手術で改善が期待できる。第88回日本整形外科学会学術総会 2015.5.21 神戸
16. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井俊二 岡田基宏 中尾慎一：腰部脊柱管狭窄症の除圧術後に遺残する腰痛の危険因子。第88回日本整形外科学会学術総会 2015.5.21 神戸
17. 山田宏 吉田宗人 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 西秀人 岩崎博 筒井俊二 中尾慎一 岡田紗枝：腰椎側方進入手術の左側臥位・右側アプローチにおける下大静脈損傷リスク評価。第30回日整会基礎学術集会 2015.10.22 富山市
18. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎 博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平：われわれが経験したXLIF固有と考えられる合併症。第18回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会 2015.11.27 東京
19. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎 博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平：XLIFによる成人側弯症の治療成績。第18回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会 2015.11.27 東京
20. 橋爪洋、山田宏、吉村典子、岡敬之、石元優々、長田圭司、寺口真年、籠谷良平、浅井宣樹、宮崎展行、吉田宗人。ロコモティブシンドロームと腰痛、膝痛、身体能力との関連。第88回日本整形外科学会学術総会 2015.5.21-24、神戸市
21. 橋爪洋、吉村典子、山田宏、岡敬之、岩橋弘樹、佐々木貴英、石元優々、長田圭司、寺口真年、籠谷良平、筒井俊二、浅井宣樹、曾根勝真弓、神藤一紀、村木重之、阿久根徹、田中栄、川口浩、中村耕三、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人。一般住民における腰部部傍脊筋変性と脊柱矢状面バランスの関係：The Wakayama Spine Study。第44回日本脊椎病学会学術集会。2015.4.16-18、福岡市
22. 橋爪洋、吉村典子、山田宏、岡敬之、岩橋弘樹、佐々木貴英、石元優々、長田圭司、寺口真年、籠谷良平、浅井宣樹、曾根勝真弓、神藤一紀、出口剛士、村木重之、阿久根徹、田中栄、川口浩、中村耕三、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人。腰部部傍脊筋と腸腰筋の性別・年代別分布と腰痛との関連：The Wakayama Spine Study。第44回日本脊椎病学会学術集会。2015.4.16-18、福岡市
23. 松本卓二 安藤宗治 麻殖生和博 福井大輔 佐々木俊二：びまん性脊椎骨増殖症に伴う胸腰椎椎骨折に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた脊椎後方固定術の検討。第124回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 金沢 2015.4.10-11
24. 松本卓二 安藤宗治、峠 康、坂田亮介、佐々木俊二：60歳以上女性の大腿骨近位部骨折患者における糖尿病合併患者および非糖尿病患者の骨折型、発症年齢の比較検討とHbA1cおよび空腹時血糖の治療・未治療患者における検討。第124回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 金沢 2015.4.10-11
25. 松本卓二 安藤宗治 麻殖生和博 福井大輔：びまん性脊椎骨増殖症に合併した胸腰椎椎骨折における経皮的椎弓根スクリューを用いた低侵襲固定術と従来法による後方固定術との比較検討。第44回日本脊椎病学会学術集会、福岡 2015.4.16-18
26. 松本 卓二、麻殖生 和博、峠 康：びまん性脊椎骨増殖症および骨粗鬆症性椎体骨折の胸腰椎椎骨折手術症例における患者の病態における比較検討。第41回日本骨折治療学会、奈良 2015.6.26-27
27. 松本卓二 安藤宗治 麻殖生和博：びまん性脊椎骨増殖症および骨粗鬆症性椎体骨折の胸腰椎椎骨折手術症例における患者の病態における比較検討。第50回日本脊髄障害医学会、東京 2015.11.19-20
28. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、中尾慎一、岡田紗枝、岡敬之。頸椎定性脊髄症の病態に沿った低侵襲除圧術の有用性の検討—Propensity Score Matching法による比較研究。第44回日本脊椎病学会学術集会。2015.4.16-18。福岡市
29. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹。高齢者の頸椎定性脊髄症に対する椎管内視鏡下手術の有用性の検討。第44回日本脊椎病学会学術集会。2015.4.16-18。福岡市
30. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹、岡敬之。腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の臨床成績に影響する因子は何か。第44回日本脊椎病学会学術集会。2015.4.16-18。福岡市
31. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、岡敬之。頸椎定性脊髄症に対する内視鏡下除圧術の有用性の検討—Propensity Score Matching法による比較研究。第88回日本整形外科学会学術総会。2015.5.21-24。神戸市

32. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、岩崎博. 高齢者頸髓症に対する脊椎内視鏡手術の有用性の検討. 第 50 回日本脊髄障害医学会. 2015. 11.19-20. 東京
33. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一. 腰椎変性疾患に対する XLIF 手術におけるナビゲーションシステム導入の有用性について - preliminary study. 第 18 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会. 2015.11.26-27. 東京
34. 南出晃人：【座長】 主題「MED, MEL 合併症」第 18 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会. 2015.11.26-27. 東京
35. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、岩崎博、筒井俊二：Revision surgery tool としての XLIF の適応と実際. 第 6 回日本 MIST 研究会、2015.1.14-15、神戸
36. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹：脊椎内視鏡手術における合併症と対策. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18 博多
37. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹：Revision surgery としての XLIF(eXtreme Lateral Interbody Fusion)の適応と実際. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18 博多
38. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 筒井俊二：びまん性特発性骨増殖症(DISH)を合併した OPLL 患者の手術後に生じた脊椎骨折について. 第 50 回日本脊髄障害医学会 2015.11.19-20、東京
39. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 岩崎博：頸椎手術後の隣接椎間障害に対する頸椎内視鏡手術について. 第 50 回日本脊髄障害医学会 2015.11.19-20、東京
40. 北野陽二：下腿・足部外傷に対する遠位茎腓腹皮弁による再建の経験.第 29 回日本外傷学会,2015/6,北海道
41. 北野陽二：母子 CM 関節症に対する locking plate を用いた関節固定術の経験.第 69 回国立病院総合医学会,2015/10,北海道
42. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、筒井俊二、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹、吉田宗人：XLIF における術中神経機能モニタリング法の問題点. 第 5 回日本成人脊柱変形学会, 2015. 3. 東京
43. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出 晃人、中川 幸洋、西 秀人、筒井 俊二、中尾 慎一、岡田 紗枝、岩橋 弘樹、吉田 宗人：Extreme lateral interbody fusion(XLIF)における神経モニタリング法の有用性と問題点 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18. 博多
44. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出 晃人、中川 幸洋、西 秀人、筒井 俊二、中尾 慎一、岡田 紗枝、岩橋 弘樹、吉田 宗人：術中神経モニタリングからみた extreme lateral interbody fusion(XLIF)の問題点. 第 88 回日本整形外科学会学術総会 2015.5.21-24. 神戸
45. 岩崎 博、山田 宏、中川幸洋、吉田宗人：各種脊椎脊髄術中モニタリングの特徴と今後の展望 extreme lateral interbody fusion(XLIF)時の術中腰神経モニタリング. 第 45 回日本臨床神経生理学会学術大会, 2015. 11. 大阪
46. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、吉田宗人：Extreme lateral interbody fusion (XLIF®) における神経モニタリングによる手術支援. 第 18 回日本低侵襲脊椎外科学会 2015.11.26-27. 東京
47. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、中村陽介、矢渡健一、中川智刀. 過去 15 年間の脊椎内視鏡手術症例データから試算した将来の腰椎手術数の推移について. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18. 博多
48. 野村和教、吉田宗人、中村陽介、山屋誠司. 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下椎弓切除術の learning curve とはどのような曲線か?— 同一術者の 500 余例による検討—. 第 18 回日本低侵襲脊椎外科学会 2015.11.26-27. 東京
49. 坂田 亮介、神埜 聖治、南 晋司、西 秀人、宮本 選、峠 康：若年発症の強直性脊椎炎にインフリキシマブを投与した 1 例.第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会,2015.4.名古屋
50. 坂田 亮介、佐々木 俊二、福井 大輔：鏡視下靱帯再建術後に吸収性インターフェレンススクリューが脱臼した 1 例.第 7 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (7th JOSKAS) ,2015.7.札幌
51. 筒井俊二、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹、吉田宗人：XLIF の椎体間スペーサーの沈み込みに関する X 線学的検討-PLIF との比較を含めて-. 第 5 回日本成人脊柱変形学会,2015. 3. 東京
52. 筒井俊二、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、岩崎博、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹、吉田宗人：経頭蓋電気刺激複合筋活動電位を用いた術中運動機能モニタリングにおける多連発刺激の有用性 - 電位振幅の安定性に着目して -. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18. 博多

53. 筒井俊二、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、中尾慎一、岡田紗枝、岩橋弘樹、吉田宗人：XLIF における椎体間スペースの沈み込みに関する X 線学的検討。第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18. 博多
54. 中根康博、原田 誠、岩崎正文、中村 智、阿部唯一、吉田宗人：器械体操「吊り輪競技」での大胸筋皮下断裂の一例。第 7 回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2015.6.18 札幌
55. 中根康博、原田 誠、岩崎正文、中村 智、阿部唯一、吉田宗人：スポーツ外傷で発生した若年者肩甲下筋腱単独断裂。第 41 回日本整形外科スポーツ医学会 2015.9.11 京都
56. 中根康博、原田 誠、岩崎正文、中村 智、阿部唯一、佐々木貴英、吉田宗人：当院におけるリバーズ型人工肩関節置換術の短期成績。第 42 回日本肩関節学会 2015.10.10 仙台
57. 中根康博、原田 誠、岩崎正文、中村 智、阿部唯一、佐々木貴英、吉田宗人：スポーツ外傷で発生した若年者肩甲下筋腱単独断裂の一例。第 42 回日本肩関節学会 2015.10.10 仙台
58. 中根康博：肩関節鏡手術ハンズオンセミナー。第 41 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 2015.9.11 京都
59. 高見正成、辻本修平、長田圭司：90 歳以上の高齢者大腿骨近位部骨折手術例に関する生命予後の検討。第 41 回日本骨折治療学会学術集会、2015.06、奈良
60. 中尾慎一、木岡雅彦、吉田宗人ほか：ナビゲーションシステムの精度の検討と術中リアルタイム骨切除イメージ作成のための基礎研究。第 9 回日本 CAOS 研究会、2015.3.12-13 岡山県倉敷市
61. 中尾慎一、木岡雅彦、吉田宗人ほか：内視鏡手術シミュレーターとナビゲーションシステムを利用した術中リアルタイム骨切除イメージ作成のための基礎研究。第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会、2015.10.22-23 富山市
62. 岩田勝栄、北野陽二：手指皮膚軟部組織欠損に対する Superficial Palmar Branch of the Radial Artery Flap による治療経験。第 58 回日本手外科学会学術総会、2015. 4. 東京
63. 岩田勝栄、北野陽二：即時内固定を行った大腿骨骨幹部骨折に合併した脂肪塞栓症の 1 例。第 29 回日本外傷学会総会・学術集会 2015. 6. 札幌
64. 谷口亘、宮本選、谷口隆哉、佐々木貴英、曾根勝真弓、阿部唯一、宮崎展行、吉田宗人：THA によって破局的思考は改善されるのか？ 第 42 回日本股関節学会学術集会、2015.10.30-31 大阪
65. 谷口亘、宮本選、谷口隆哉、佐々木貴英、曾根勝真弓、阿部唯一、宮崎展行、吉田宗人：THA 術後疼痛に術前破局的思考が与える影響の解析。第 8 回日本運動器疼痛学会、2015.12.12-13、名古屋
66. 西山大介、松崎交作、山崎悟、瀧口登、原田悌志、山東茂樹：CT 横断像を用いた正射影ベクトルの内積を応用した大腿骨前捻角測定法の検討。第 42 回日本股関節学会学術集会、2015.10.31 大阪
67. Ishimoto Y, Yoshimura N, Muraki S, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Minamide A, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M : Relation between lumbar spondylolisthesis and its association with symptomatic lumbar spinal stenosis in a population-based cohort: The Wakayama Spine Study. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18 博多
68. 石元優々 川上守 長田圭司 北川智子 森下詔子 松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症患者の術後腰痛、手術満足度に術前心理尺度は関与するか？ 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18 博多
69. Nagata K, Hashizume H, Ishimoto Y, Yamada H, Takiguchi N, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshimura N, Yoshida M: The Characteristics of Cervical Myelopathy and Imaging Studies of Cervical Spine In the Elderly: The Wakayama Spine Study. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 福岡 2015.4.16
70. Nagata K, Hashizume H, Ishimoto Y, Yamada H, Takiguchi N, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshimura N, Yoshida M: The Prevalence of Cervical Myelopathy Among Subjects With Narrow Cervical Spinal Canal In A Large Cohort: The Wakayama Spine Study. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 福岡 2015.4.16
71. 長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子、川上守：QOL、心理面の評価法を加味した一般健常者における、頸部愁訴の特徴。第 44 回日本脊椎脊髄病学会 福岡 2015.4.16

72. 長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子、川上守：頸髄症手術患者の軸性疼痛について一心理的因子は関与するか？第44回日本脊椎脊髄病学会 福岡 2015.4.17
73. 長田圭司、石元優々、北川智子、北田ゆかり、森下詔子、松岡淑子、川上守：全脊柱X線や心理的評価も加えた一般健常者における、頸部愁訴の特徴 第125回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 名古屋 2015.10.2
74. 福井大輔、川上 守、内木 充、井上 望、舛田浩一：3μDCTを用いたラット腰椎椎間板切除後の構造学的変化の検討。第30回日本整形外科学会基礎学術集会,2015.10.富山
75. 福井大輔、川上 守、内木 充、舛田浩一：ラット腰椎椎間板切除後の歩行以上に対するストレスの影響。第30回日本整形外科学会基礎学術集会,2015.10.富山
76. 福井大輔、川上 守、内木 充、Koichi Masuda：ストレス負荷がラットの行動変化に及ぼす影響。第23回日本腰痛学会,2015.11.東京
77. 岩橋弘樹、吉村典子、橋爪洋、山田宏、岡敬之、石元優々、長田圭司、寺口真年、籠谷良平、浅井宣樹、曾根勝真弓、神藤一紀、出口剛、村木重之、阿久根徹、川口浩、田中栄、中村耕三、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人：腰椎部骨性脊柱管形態の性別・年代別変化と臨床症状との関連—The Wakayama Spine Study—第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18. 博多
78. 佐々木貴英、谷口隆哉、阿部唯一、宮本選、岩崎博、筒井俊二、曾根勝真弓、吉田宗人：大転子高位股に対して術中モニタリング併用下に施行した人工股関節置換術の検討、第45回日本人工関節学会, 2015.2 福岡市
79. 曾根勝真弓、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、吉田宗人：成人化膿性股関節炎に対して二期的人工股関節置換術を行った3例 Two-stage Total Hip Arthroplasty for Primary Septic Arthritis of the Hip in Adults. 第45回日本人工関節学会, 2015.2.28-29, 福岡
80. 曾根勝真弓、谷口 亘、山中学、西尾尚子、清行康邦、筒井俊二、中塚映政、吉田宗人：脊髄後角NMDA受容体のインターフェロン-γによる活性化 Interferon-γ activates NMDA receptors in the dorsal horn of spinal cord. 第37回日本疼痛学会, 2015.7.3-4, 熊本
81. 曾根勝真弓、谷口 亘、山中学、西尾尚子、清行康邦、筒井俊二、中塚映政、吉田宗人：インターフェロン-γは脊髄後角でのNMDA電流を増強する Interferon-γ enhances NMDA-induced inward currents in the dorsal horn of spinal cord. 第30回日本整形外科学会基礎学術集会, 2015.10.22-23, 富山
82. 曾根勝真弓、谷口亘、山中学、西尾尚子、筒井俊二、西秀人、中塚映政、吉田宗人：インターフェロン-γによる脊髄後角内 microglia-neuron interaction 活性化のメカニズム。第8回日本運動器疼痛学会, 2.12-13, 名古屋
83. 神藤一紀、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、曾根勝真弓、吉田宗人：硬膜外チューブを用いた抗菌薬局所注入療法が有効であった化膿性膝関節炎の一例、第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015.6 札幌市
84. 神藤一紀、阿部唯一、宮本選、谷口隆哉、峰巨、曾根勝真弓、吉田宗人：術前リドカインテストはTKA術後満足度を予測可能か？、第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2015.6 札幌市
85. 神藤一紀、宮崎展行、阿部唯一、宮本選、谷口隆哉、峰 巨、曾根勝真弓、吉田宗人：持続硬膜外チューピングはTHA術後鎮痛に十分か？、第45回日本人工関節学会, 2015.2 福岡市
86. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、高橋雅人、伊藤全哉、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、木田和伸、山本直也、谷俊一：高リスク脊椎手術におけるBr(E)-MsEP解析—日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設研究—第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2015.4.16-18. 博多
87. Fujiwara Y, Matsuyama Y, Kobayashi S, Saito T, Ando M et al. Surgical strategy for intramedullary spinal cord tumors based on the transcranial electrically stimulated muscle evoked potential monitoring: The JSSR prospective multicenter study. The 44th annual meeting of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research March 2015, Fukuoka
88. Ito Z, Matsuyama Y, Ando M et al. How to prevent postoperative paralysis from thoracic ossification of posterior longitudinal ligament (OPLL) surgery-Nationwide multi-institutional study- The JSSR prospective multicenter study. The 44th annual meeting of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research March 2015, Fukuoka

89. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、伊藤全哉、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、山本直也、谷俊一：高リスク脊椎手術における Br(E)-MsEP 解析—日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設前向き研究—。第 88 回日本整形外科学会学会学術総会 2015.5.21-24. 神戸
90. 藤原靖、松山幸弘、小林祥、伊藤全哉、山田圭、齋藤貴徳、川端茂徳、寒竹司、和田簡一郎、安藤宗治、谷俊一：経頭蓋刺激筋誘発電位術中脊髄モニタリングを用いた脊髄腫瘍摘出術の手術戦略—日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究—。第 88 回日本整形外科学会学術総会 2015.5.21-24. 神戸
91. 折田純久、大鳥精司、山下俊彦、米延策雄、川上 守、田口敏彦、菊地臣一、牛田享宏、中村雅也、高橋和久：腰椎疾患における神経障害性疼痛スクリーニングの現状と限界—脊椎関連慢性疼痛患者における神経障害性疼痛有病率調査サブ解析より。第 44 回日本脊椎脊髄病学会,2015.4.福岡
92. 宮城正行、井上 玄、大鳥精司、石川哲大、鴨田博人、佐久間詳浩、西能 健、内田健太郎、川上 守、高橋和久、高相晶士：慢性椎間板性疼痛の実験モデルを用いた病態に関する検討。第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会,2015.10.富山
93. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、長田圭司、北川智子、成川 臨、山本義男、左近奈菜：腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法後の手術の有無での治療成績の比較～2 年間の前向き研究～。第 23 回日本腰痛学会,2015.11.東京
94. 原田 誠、中根康博、岩崎正文、中村 智、阿部唯一、佐々木貴英、吉田宗人：肩甲下筋内に発生した骨軟骨腫による coracoid impingement の一例。第 42 回日本肩関節学会 2015.10.10 仙台
95. 藤原健太、中根康博、川上基好、柏木孝介、原田 誠、岩崎正文：リバーズ型人工肩関節置換術を施行した一症例～困難事例より～。第 42 回日本肩関節学会 2015.10.10 仙台
96. 川上基好、中根康博、藤原健太、柏木孝介、原田 誠、岩崎正文：リバーズ型人工肩関節置換術後リハビリテーションプロトコール。第 42 回日本肩関節学会 2015.10.10 仙台

#### d) 地方学会

1. 安藤宗治、玉置哲也、佐々木俊二、麻殖生和博、福井大輔、寺口真年：術中脊髄機能モニタリングにおける経頭蓋電気刺激・筋誘発電位の問題点の検討。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 4.10-11.金沢市
2. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人：腰部脊柱管狭窄症に伴う腰痛は脊椎内視鏡手術で改善が期待できる。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会, 2014. 4.11, 金沢市
3. 松本卓二、安藤宗治、佐々木俊二、坂田亮介、峠 康：60 歳以上女性の大腿骨近位部骨折における糖尿病患者の骨折型、年齢の検討と HbA1c および空腹時血糖の比較検討。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 4.10-11.金沢市
4. 松本卓二、安藤宗治、福井大輔、麻殖生和博、佐々木俊二：びまん性脊椎骨増殖症に合併した胸腰椎骨折における経皮的椎弓根スクリューを用いた脊椎後方固定術の検討。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 4.10-11.金沢市
5. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人：頸椎手術後の隣接椎間障害に対する頸椎内視鏡下手術。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 4.10-11.金沢市
6. 西 秀人：陳旧性頸椎脱臼骨折の 1 例 第 16 回和歌山救急・災害医療研究会 2015.11.21. 和歌山市
7. 北野陽二、岩田勝栄、中村正享、平一裕：当院における遠位茎腓腹皮弁の経験。和歌山県整形外科医会,2015/2,和歌山
8. 北野陽二、岩田勝栄、平一裕：当院における逆行性腓腹皮弁の経験。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会・学術総会,2015/4,石川
9. 北野陽二：PILON 骨折の検討。第 16 回和歌山救急・災害医療研究会,2015/11,和歌山
10. 岩崎 博、山田 宏、南出 晃人、中川 幸洋、筒井 俊二、吉田 宗人：XLIF における術中神経モニタリング法 経頭蓋電気刺激筋誘発電位モニタリング併用の試み。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 4.10-11.金沢市
11. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出 晃人、中川 幸洋、吉田 宗人：XLIF における神経合併症と神経モニタリングによる対策。第 125 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 10.2-3.名古屋
12. 高見正成、北野岳史、太田泰宏、辻本修平：腰椎分離すべり症に伴う椎間孔内遊離骨化病変に対し鏡視下手術で対応した 1 例。第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会、2015.04、金沢



13. 高見正成、岡田基宏、延與良夫、岩崎博、西秀人、吉田宗人：連続しない離れた箇所での不安定型脊椎骨折を有する症例 (floating spine) の検討. 第 16 回和歌山救急災害医療研究会、2015.11、和歌山
14. 阿部唯一 谷口亘 山中学 曾根勝真弓 西尾尚子 中塚映政 吉田宗人：脊髄前角細胞における GABAB 受容体作動薬バクロフェンの作用機序. 第 4 回ニューロカンファレンス 和歌山 2015.1 和歌山
15. 岩田勝栄、北野陽二、中村正亨、平一裕：即時内固定を行った大腿骨骨幹部骨折に合併した脂肪塞栓症候群の 1 例. 第 16 回和歌山救急・災害医療研究 2015. 11. 和歌山
16. 中村正亨：出血性ショックに至った大腿骨転子部骨折と安定型骨盤輪骨折を合併した 3 例. 第 16 回和歌山救急・災害医療研究会、2015.11、和歌山
17. 石元優々 川上守 長田圭司 松岡淑子：腰椎椎体間固定と腰椎椎間関節固定における CBT 法による screwing の検討. 第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 4.10-11.金沢市
18. 長田圭司、石元優々、中西一郎、大岩美嗣、川上 守：腰部脊柱管狭窄症と鑑別が必要であった脳疾患の 2 例. 第 445 回整形外科集談会 京阪神地方会、2015.2. 大阪
19. 長田圭司、石元優々、川上 守：全脊柱 X 線や心理的評価も加えた一般健常者における、頸部捻訴の特徴. 第 125 回中部日本整形外科災害外科学会、2015.10.愛知
20. 長田圭司、石元優々、川上守：当院における軸椎骨折の小経験. 和歌山救急・災害医療研究会 2015.11.21
  
21. 平一裕 北野陽二 岩田勝栄 中村正亨：当院における指尖部切断再接着の治療経験. 2015. 1. 15 和歌山 MIOS
22. 平一裕 北野陽二 岩田勝栄 中村正亨：当院における下肢開放骨折治療の現状と問題点. 和歌山県整形外科医会、2015.2、和歌山
23. 平一裕 北野陽二 岩田勝栄 中村正亨：当院における下肢開放骨折治療の現状と問題点. 第 124 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2015. 4.10-11.金沢市
24. 平一裕 北野陽二 岩田勝栄 中村正亨：当院における大腿骨ステム周囲骨折の治療経験. 第 16 回和歌山救急・災害医療研究会 2015.11.21. 和歌山市
25. 岩橋弘樹 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 西秀人 岩崎博 筒井俊二 中尾慎一 岡田紗枝 頸椎黄色靭帯石灰化症に対する後方内視鏡下除圧術.第 83 回和歌山医学会総会、2015.7、和歌山
26. 佐々木貴英 谷口隆哉 阿部唯一、宮本選 吉田宗人：高度外反変形を伴うシャルコー関節に対して人工膝関節置換術を行った 1 例、和歌山県整形外科医会 第 25 回学術集会、2015.2、和歌山市
27. 佐々木貴英 谷口隆哉 阿部唯一、宮本選 吉田宗人：高度外反変形を伴うシャルコー関節に対して人工膝関節置換術を行った 1 例、第 124 回中部整形外科災害外科学会 学術集会、2015.4 金沢市
28. 佐々木貴英、谷口隆哉、宮本選、谷口亘、吉田宗人：Metal-on-Metal 人工股関節置換術後に発生した pelvic discontinuity を伴う ARMD に対し人工股関節再置換術を行った 1 例、第 83 回和歌山医学会総会、2015.7 和歌山市
29. 前田 孝浩、石口 明、金川 建彦、三宅 悠介、井口 智揮、山田 宏：Persistent first intersegmental artery を伴った環椎後頭骨化症の一例. 第 83 回和歌山医学会総会、2015.7 和歌山市
30. 曾根勝真弓、谷口隆哉、阿部唯一、宮本 選、佐々木貴英、村上公英、吉田宗人、南 晋司、宮崎展行：感染人工股関節に対する二次的人工股関節再置換術. 和歌山県整形外科医会 第 25 回学術集会. 2015.2.21
31. 曾根勝真弓、谷口 亘、山中学、西尾尚子、筒井俊二、中塚映政、吉田宗人：Interferon-gamma は脊髄後角ニューロンの NMDA 受容体を活性化する. 第 13 回 整形外科痛みを語る会、2015.6.27-28、佐賀
32. 曾根勝真弓、宮崎展行、宮本 選、谷口隆哉、谷口 亘、佐々木貴英、吉田宗人：股関節鏡視下関節形成術の小経験. 第 83 回和歌山医学、2015.7.5、和歌山市
33. 出口剛士：高 ALP 血症を呈したが、診断が遅延した播種性骨髄癌症の 1 例. 第 123 回中部日本整形外科災害外科学会、2015, 5, 石川
34. 清水一希 石元優々 川上守 長田圭司 松岡淑子 中尾慎一：CBT 法のスクリュールスニングによる椎弓根拡大が神経根障害を来した一例. 第 446 回整形外科集談会、2015.7. 大阪

e) その他(研究会等)

1. 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二: 脊椎内視鏡手術, 股関節鏡, 手関節鏡実習 和歌山県立医科大学整形外科教室 脊椎内視鏡 cadaver seminar 2015 (2015.1)
2. 吉田宗人, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 岩崎博, 筒井俊二, 中尾慎一, 河合将紀, 坂根正孝, 清水純人: 腰椎模型を用いた脊椎後方内視鏡手術実習. 第6回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー (2015.6)
3. 吉田宗人: ラジオ「痛いの・痛いの・飛んでけ!」 和歌山放送 月1回放送
4. 吉田宗人: テレビ放映: 身体に優しい治療法とは?—腰痛治療のスペシャリストたち— (2015.4.29)
5. 岡安 勤: 和歌山県における障害児の療育体制づくり 脳性麻痺から自閉症スペクトラムまで. ボイタ研究会,2015.9.5.京都市
6. 川上 守: 本当は怖い腰痛の話. 紀北健康出前講座,2015.1. 橋下市
7. 川上 守: 肩のこらない、肩こりの話.平成26年度 第11回紀北健康講座,2015.2. 紀北分院
8. 川上 守: FBSS. メディカルレビュー社 座談会,2015.11.和歌山
9. 安藤宗治, 玉置哲也, 麻殖生和博, 福井大輔, 寺口真年, 伊庭信幸, 吉益千恵: 脊髄モニタリングを利用した胸椎後方侵入除圧術の検討. 脊髄機能診断研究会、2015. 2. 東京
10. 安藤宗治, 玉置哲也, 麻殖生和博: 脊髄機能モニタリングを用いた胸椎椎間板ヘルニアに対する後方椎間板摘出術の検討. 第2回日本脳脊髄術中モニタリング研究会 2015.9. 東京
11. 安藤宗治: 脊椎疾患に起因する疼痛とその治療法. 整形外科セミナー-in 和歌山市、2015.3. 和歌山市
12. 安藤宗治: 骨粗鬆症性脊椎椎体骨折に対する手術療法. 和歌山河北地区骨粗鬆症勉強会 2015.9. 和歌山市
13. 安藤宗治: Multimodal monitoring のすすめ. 第1回術中脳脊髄モニタリングセミナー 2015. 8 枚方市
14. 安藤宗治: 脊椎脊髄疾患の画像診断と電気生理学的診断. 第13回日本整形外科学会脊椎脊髄病医研修会 2015. 8 東京
15. 増田研一: スポーツ現場に於けるメディカルサポートの注意点①頭部外傷対策②準備物品と記録方法. 和歌山県医師会主催日医認定健康スポーツ医学再研修会. 2015.2.7 和歌山市
16. 増田研一: スポーツ現場に於けるメディカルサポート. 第28回耳原病院メディカルカンファレンス. 2015.5.28 大阪府堺市
17. 増田研一: スポーツ現場に於けるリスク管理. 平成27年度有田市学校保健協議会総会特別講演. 2015.6.25 和歌山県有田市
18. 橋爪洋: 和歌山放送(ラジオ) あなたを守る医療機器「ロコモティブシンドロームについて1-5」、2015年1月3、10、17、24、31日(各10分間)
19. 橋爪洋: 運動器の10年・骨と関節の日 市民公開講座 教えてロコモ-寝たきりにならないために 「ロコモの原因と運動の効果について」. 2015.10.31、和歌山市
20. 峠 康: 一般演題: 整形外科領域における痛風治療について. 第5回和歌山痛風尿酸血症研究会 2015.7.16 ダイワロイネットホテル 和歌山
21. 石口 明: 市民健康講座 骨粗鬆症性椎体骨折 2015.7.田辺市
22. 松本卓二, 川上 守, 安藤宗治, 吉田宗人: 脊髄損傷患者に対するプレホスピタルケアとしてドクターヘリの有用性—極めて稀な幼児頸髄離断の1例. 第16回和歌山救急・災害医療研究会,2015.11.和歌山市
23. 南出晃人. 第6回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2015. 6. 26-27. 和歌山市
24. 中川幸洋: 獨協医大脊椎外科カダバーセミナー2015. 2015.1.24-25、獨協医科大学、宇都宮東武ホテルグランデ
25. 中川幸洋: 脊椎内視鏡手術コース・技術講習. 第13回脊椎脊髄病研修コース 2015.4.18、博多
26. 中川幸洋: 第6回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2015.6.27 和歌山市
27. 西 秀人: 第4回 地域ふれあいフェスタいきいき健康講座テーマ「腰痛」 2015.12.4 御坊市
28. 河合将紀: 脊椎内視鏡下後方除圧術 -2500例の執刀経験から得たもの-, 第7回奈良鏡視下手術スキルアップセミナー, 2015. 2. 21, 厳橿会館, 奈良市
29. 河合将紀: 脊椎内視鏡下後方除圧術の基礎知識, 島根大学医学部整形外科教室ミニレクチャー, 2015.3.9, 出雲市

30. 河合将紀：内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (MED) ライブサージェリー, 第 6 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー, 2015.6.26-27, 和歌山市
31. 坂田亮介：関節リウマチって何？-早く見つけるために-。「運動器の 10 年・骨と関節の日」市民公開講座, 2015.10.和歌山
32. 筒井俊二、岩崎博、芝崎裕順、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、中尾慎一、岩橋弘樹、吉田宗人：経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録による術中運動機能モニタリングにおける多連発刺激の有用性。第 36 回脊髄機能診断研究会、2015.2.東京
33. 中根康博：いわゆる「五十肩」って何でしょう？和歌山市医師会 外科・整形外科部会、2015.2.14 和歌山 ビック愛
34. 中根康博：『肩の治療』どこ診てどう治す！ファイザー社内勉強会、2015.5.27 和歌山 ファイザー社内
35. 中根康博：『肩の治療』どこ診てどう治す！科研製薬 社内勉強会、2015.5.27 和歌山 県民文化会館
36. 中根康博：『肩関節鏡視下手術』の潮流。角谷整形・須佐病院 合同勉強会、2015.7.10 和歌山 須佐病院
37. 中根康博：リバーズ型人工肩関節置換術の現状。角谷整形外科病院リハビリ勉強会、2015.6.4 和歌山 角谷整形外科病院
38. 中根康博：ラグビー競技に対する医学的安全対策。平成 27 年度和歌山ラ協会安全推進講習会、2015.4.18 和歌山 和歌山工業高校
39. 中根康博：ラグビー競技における重傷事故予防。平成 27 年度和歌山ラグビー協会主催セーフティーアシスタント講習会、2015.7.4 和歌山 和歌山工業高校
40. 中根康博：1. スポーツ指導者に必要な医学的知識 2. ジュニア期の身体的特徴とスポーツ。日本体育協会主催 スポーツリーダー、スポーツ少年団認定員養成講習会、2015.11.15 和歌山市
41. 中根康博：1. スポーツ指導者に必要な医学的知識 2. ジュニア期の身体的特徴とスポーツ。日本体育協会主催 スポーツリーダー、スポーツ少年団認定員養成講習会、2015.11.22 田辺市
42. 中根康博：Reverse Total Shoulder Arthroplasty after failed Rotator Cuff Surgery. トルネコ社主催 リバーズ型人工肩関節シンポジウム 2015.4.26 東京
43. 中根康博：Lima 社主催 SMR Reverse Shoulder Course in Europe 講師出張、2015.1.17-24 スイス、イタリア
44. 中根康博：Smith 社 Shoulder Arthroscopy Cadaver Training 講師出張、2015.10.29-31 America, Boston
45. 中根康博：Arthrex APAC Knee & Shoulder Arthroscopy Cadaver Training Course 講師出張、2015.12.12-14
46. 高見正成：脊椎外傷 - 胸腰椎編 -。第 3 回南和歌山整形外科外傷オープンカンファレンス、2015.08、和歌山
47. 延興 良夫：腰痛における診断のピットホールと薬物療法。痛みの治療における最新の知見、2015.3 新宮市
48. 阿部唯一、谷口亘、山中学、曾根勝真弓、西尾尚子、中塚映政、吉田宗人：脊髄前角細胞における GABAB 受容体作動薬パクロフェンの作用機序。第 3 回ニューロカンファレンス、和歌山、和歌山、2015.1.10
49. 谷口亘、宮本選、谷口隆哉、阿部唯一、宮崎展行、吉田宗人：人工股関節置換術患者における術後疼痛と破局的思考の相互関係について 第 12 回運動機能傷害フォーラム和歌山 2015.7.18 和歌山
50. 長田圭司、川上 守、石元優々、松岡淑子、森下詔子：当院における軸椎骨折の小経験：第 16 回和歌山救急・災害医療研究会、2015.1.和歌山市
51. 平一裕 北野陽二 岩田勝栄 中村正亨：足関節脱臼骨折の 1 例。2015.6.27 紀南関節外科
52. 山中学、谷口亘、曾根勝真弓、岩橋弘樹、筒井俊二、中塚映政、吉田宗人：脊髄膠様質における TRPA1 の抗侵害性作用 -in vivo patch-clamp 法を用いた解析-。第 36 回脊髄機能診断研究会、東京、2015.2.7
53. 神藤一紀、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、曾根勝真弓、吉田宗人：硬膜外チューブを用いた抗菌薬局所注入療法が有用であった化膿性膝関節炎の一例、第 14 回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム、2015.1 和歌山市
54. 神藤一紀、宮崎展行、阿部唯一、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、曾根勝真弓、吉田宗人：Forgotten Joint Score-12 の有用性の検討、和歌山整形外科医会、2015.2 和歌山市
55. 神藤一紀、宮崎展行、宮本 選、谷口隆哉、峰 巨、谷口 亘、佐々木貴英、曾根勝真弓、吉田 宗人：Acromegalic Arthropathy に対して人工股関節全置換術を行った 1 例、第 83 回和歌山医学会総会、2015.7 和歌山市
56. 出口剛士：固定最下端で骨折を来たして再手術を要したびまん性特発性骨増殖症の 1 例。第 83 回和歌山医学会総会、2015, 7, 和歌山

57. 泉尚史, 谷口亘, 西尾尚子, 清行康邦, 林正貴, 中塚映政, 吉田宗平, 吉田宗人: 脊髄前角細胞におけるキノホルムの興奮性シナプス伝達増強作用. 第36回脊髄機能診断研究会, 東京, 2015.2.7
58. 泉尚史, 谷口亘, 山中学, 曾根勝真弓, 西尾尚子, 中塚映政, 吉田宗平, 吉田宗人: Clioquinol による脊髄前角細胞の興奮性シナプス伝達増強. 第3回ニューロカンファレンス和歌山, 和歌山, 2015.1.10

《受賞》

安藤宗治: 平成27年度労働者健康福祉機構優秀研究賞

安藤宗治: 平成27年度NPO法人和歌山国際脊椎先端技術開発研究会奨励賞

研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 吉田宗人: 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 課題番号: H26-難治一般-038
2. 日本医療研究開発機構研究費 (AMED)長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人: 膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための研究: 大規模住民コホート (LOCOMO スタディ) の追跡 加齢による姿勢変化の要因と腰痛との関連 課題番号: 15dk0107005h0003
3. 平成27年ふくしま医療福祉機器開発事業費補助券事業による国産脊椎内視鏡開発プロジェクト共同研究(株式会社JIMURO) 吉田宗人: 日本人医師の手技に適した脊椎外科手術用内視鏡システムの開発
4. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 川上 守: 椎間板変性モデルを用いた腰痛治療法の確立
5. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 山田 宏: 地域住民コホート研究による腰部脊柱管狭窄症の自然経過の解明
6. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 橋爪 洋: サルコペニアと脊椎アライメント変化に着目した運動機能低下診断・予測ソールの開発
7. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 中川幸洋: 脊椎脊髄手術時の神経機能モニタリングにおける新しい大脳刺激法の開発
8. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 岩崎 博: 低侵襲脊椎手術表現のための新しい機能診断方法の開発
9. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 筒井俊二: 脊髄後角における顆粒球コロニー刺激因子がもたらす鎮痛作用メカニズムの解明
10. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 .西 秀人: 腰椎部脊柱管外病変に係る難治性疼痛のメカニズム解明と治療法開発
11. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 中尾慎一: 脊椎内視鏡手術のための次世代ナビゲーションシステムの開発
12. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 谷口 亘: 前帯状皮質活性化が脊髄後角に下行性疼痛賦活系を形成するメカニズムの解析
13. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 西尾尚子: In vivo パッチクランプ法による鍼灸鎮痛メカニズムの解明
14. 平成27年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 代表研究者 中塚映政: ソマトスタチンが関与する脊髄電気刺激療法メカニズムの解明
15. 平成27年度科学研究費補助金(若手研究(B)) 代表研究者 岩橋弘樹: 腰椎部発育性脊柱管狭窄の概念確立を目指す地域住民コホート研究
16. 平成27年度科学研究費補助金(若手研究(B)) 代表研究者 寺口真年: 住民コホート研究の追跡調査による脊椎退行性変化の危険因子と頸部痛・腰痛の解明

17. 平成 27 年度科学研究費補助金 (若手研究(B)) 代表研究者 籠谷良平:びまん性特発性骨増殖症の予後と脊椎椎体骨折との関連:住民コホートの追跡
18. 労働者健康福祉機構平成 27 年度病院機能向上のための研究 安藤宗治「腰部椎間孔部障害に対する非侵襲的術前機能診断法の確立」